

# 令和2年度事業報告

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

社会福祉法人 若宮会

特別養護老人ホーム わきたの里

ショートステイ わきたの里

グループホーム わきたの里

# 目 次

## I はじめに

※令和2年度事業所別課題抽出結果

## II 法人統括

1. 利用者処遇
2. 相談援助
3. 健康管理
4. 職員の資質及び専門性の向上

## III 事業所別事業報告

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】について
2. (予防)短期入所生活介護【ショートステイ】について
3. (予防)認知症対応型共同生活介護【グループホーム】について

## IV 各事業所利用実績

1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】
2. (予防)短期入所生活介護【ショートステイ】
3. (予防)認知症対応型共同生活介護【グループホーム】

## V 各事業所行事・研修報告

- ・令和2年度特別養護老人ホーム・ショートステイ行事・研修報告
- ・令和2年度グループホーム行事・研修報告

## I はじめに

社会福祉法人若宮会における令和2年度の事業につきましては、当法人の基本理念と運営方針に基づき、各事業において、高齢者の方々が充実した毎日を過ごしていただけるように、利用者の目線にあわせた質の高い福祉サービス等の提供に努めることを目標に、それぞれの事業を推進してきました。

そんな中、「新型コロナウイルス」の世界的な大流行により、国内における感染者数、死亡者数が比較的少ない我が国においても水際対策や財政出動が行われ、当園にも様々な諸官庁から施設運営（感染対策）に係る一時的措置についての通知がなされました。これにより、利用者のQOL（生活の質）の向上をはじめ職員の資質向上や運営の安定化を図るための様々な事業が推進できず、「新型コロナウイルス」流行後の標準に合わせた対策を講じる必要がでてきました。

このような状況の中、ICT（情報通信技術）化や事業継続計画の策定など、指定基準において標準化されるであろう取組の推進に加え、平時からの感染防止対策の強化が重要課題として挙がり、今後の安定運営には欠かせないものになると確信しています。

令和2年度を取組を推進していくなか、各事業所において抽出された課題については、以下のとおりです。

### ※令和2年度事業所別課題抽出結果

#### 特別養護老人ホーム

- ・感染防止対策の強化
- ・ICT化と科学的介護の推進体制整備
- ・介護サービスの質の向上と加算の取得
- ・事業継続計画の策定

#### ショートステイ

- ・利用者の確保
- ・長期利用に係る居宅介護事業所との連携
- ・機能訓練の必要性和安定供給

## グループホーム

- 適切な評価のための訪問調査対応
- 認知症ケアに係る介護サービスの質の向上
- 中重度者受け入れ・重度化対応に係る介護技術の向上
- 資格取得による専門性の向上

## Ⅱ 法人統括

### 1. 利用者処遇

利用者処遇に関しましては、法人の基本理念に基づき、利用者の方が「生きがいを持てる健全で安らかな生活の保障」を基本として、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの向上に努めてきました。

令和2年度においては、「新型コロナウイルス」の流行により面会の制限が長期化するなど、利用者のQOLについては著しい影響を与える結果となりました。しかし、このような状況においても感染防止対策を実行したうえで、施設内行事やイベントに焦点を当て実施することで外出自粛や一部家族に会えない中でも利用者の皆様に喜んでいただける機会を設けることができたと考えています。

### 2. 相談援助

相談援助につきましては、利用者のご家族とのつながりを維持していくため、利用者の心身の状況や変化等に関する情報提供を行いながら連携に努めてまいりました。

令和2年度の成果物として、緊急事態宣言下や「新型コロナウイルス」流行初期においては、多くの法人や事業所が中長期的な新規受入れの制限を設けるなか、その供給の不足と「新型コロナウイルス」流行下での医療機関等からの需要、施設入所においては感染リスクが高くないことを鑑み、当園の方針として積極的な長短期入所支援を行った結果経営への影響を最小限にとどめることができたと考えています。また、これにより医療機関等からの相談の問い合わせも増えている状況です。

尚、それ以外の長短期利用希望者に関しましても、安心して次の生活の場ですごせるよう配慮に努めるなど、今後の外部機関との連携構築にも繋がるよう取り組んできました。

### 3. 健康管理

入所者や利用者の基礎疾患を基にした健康管理を行うとともに、特に予測される病態を把握することにより異常の早期発見、早期受診に努めてきました。

しかし、感染流行期から風邪による入院や長期入院退所が増加したことにより、想定した稼働率を大幅に下回る結果となっています。これは、利用者から職員、職員から利用者へと伝播していったものと考えられ、仮に「新型コロナウイルス」であったならば大変な状況になるため今後の感染拡大防止措置については十分な議論と計画が必要であると実感しています。

また、令和2年度は度重なる「緊急事態宣言」の影響から研修機会や議論の場の確保も困難であったことから予期せぬ事態への対処が後手に回ることが多く、特に「事業継続計画」等による見直しと意識改革が必要であると感じています。

#### 4. 職員の資質及び専門性の向上

個々の職員の資質や専門性の向上を図り、運営方針に基づいた「利用者の目線に合わせた質の高い福祉サービスの提供。」に則り、法人全体と各事業所において、年間の研修計画に沿った職員の勉強会や外部講師を招いた施設内研修を実施できるよう努めて参りましたが、令和2年度においても依然「新型コロナウイルス」による影響が多岐にわたり、外部講師の招聘や集団研修の企画、運営が年度途中に一時中止を余儀なくされました。そのため、リモートによる外部研修の参加等の呼びかけを行い、個人のスキル向上に努めました。しかし専門職以外には、リモートによる外部研修が浸透せず特に介護職員のスキル向上に関しましては成果を得ることができず、また、これについては時代の潮流やコロナ後の標準が理解できていないことによるものと予想され、今後十分な理解促進が必要であると考えています。

### Ⅲ 事業所別事業報告

#### 1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】について

##### (1) 令和2年度の取り組みについて

特別養護老人ホーム「わきたの里」では、地域から信頼を得る質の高いサービスの提供を目指すとともに、入所者の人権を尊重し、自己決定や安心感、満足感を満たすサービスの向上に努めてきました。

また利用者確保につきましては、年間を通して前年度以上の稼働率になるよう努めました。一昨年度同様退所者の極端な増加により同程度の数字となっています。しかしながら、「新型コロナウイルス」の影響により、新規受入れを停止していた事業所が多くあったことから、医療機関からの相談件数も増加し、入所需要に困ることはなく円滑な相談と受入れにより大幅な稼働率の低下に繋がることはありませんでした。

##### (2) 重点目標の取り組み

###### ①本部運営

本部運営にあたり、最も懸念されていた人材の確保については現在充足しており、今後は、その人材の定着を図るための取組の推進が必要なものと考えています。

###### ②介護

介護については、資質や専門性の向上、処遇改善加算に係る取組の推進を目標にしてきましたが、前述の通り研修機会の確保に恵まれず成果が得られていない結果となりました。そのため、年度の途中より次年度の研修機会の確保に向けた取組の推進に舵を切り、平時・有事の際にも対応できる形式の研修を実施できる体制構築に努めました。

###### ③看護

看護では、感染予防対策の中核を担う役割があり令和2年度においては「新型コロナウイルス」のまん延防止において、その有する知識、機能、能力を活かした十分な役割を果たしていたと考えています。しかしながら「新型コロナウイルス」という目先のことに気を取られ感染症全般における防疫については、「法人統括」記載の通り、中核としての働きができなかったものと考えています。

###### ④栄養

栄養については、利用者の重度化による低栄養や食事摂取量の低下に伴い栄養ケア計画の作成をはじめとした栄養マネジメントの強化に努めてきました。また令和2年度では、尿路感染症や脱水の予防のため、新たに「水分強化」を中心とした対応も委員会主導のもと行ってきました。また、これにつきましては中長期的な計画となるため今後結果がでるよう努めていきたいと考えています。

## 2. (予防) 短期入所生活介護【ショートステイ】について

### (1) 令和2年度の取り組みについて

ショートステイ事業につきましては、在宅介護におけるご家族の心身の負担軽減に努めてまいりました。緊急時でも積極的な受け入れが可能となるよう、職員への周知徹底を図り次の利用につながるよう対応してきました。

令和元年度では、新たに療養の給付に係る取扱いについて各関係医療機関への周知課題が山積していましたが、令和2年度で運営の働きかけもあり、無事に課題をクリアすることができました。これにより年度の途中からは、随時4床までの利用者の確保ができるようになり、施設運営に大幅なプラスとなりました。しかし、年度終盤にかけて特養の退所者や入院者が大幅に増加したことにより、その稼働率の補填としての意味合いでしか機能しなくなったため、今後更に特養と連動した利用者確保に努めていく必要性を感じています。

### (2) 重点目標の取り組み

#### ①相談及び援助

利用者やご家族からの相談に適切に応じるとともに、利用者の置かれている環境の適切な把握に努め必要な助言等を行うなど、信頼関係の構築に努めてきました。

令和2年度においては、特に緊急での長期利用が多く即日や翌日には受入れをしないと出来ないなど、難しい調整もありました。しかし、SS担当の生活相談員をはじめ、介護職員の協力により円滑な利用の促進が図れ、ご利用者さま、ご家族さまより感謝の御言葉を頂戴する機会にも恵まれました。長期利用者の確保はもちろんのこと、今後様々な需要に応えることができるよう調整を行いたいと考えています。

#### ②リスクマネジメントの強化

ショートステイにおけるリスクマネジメントについては、まずは、特養との違いを認識する必要があり、多職種にその周知を図る必要がございました。特に、自立支援や機能向上を目的としたリハビリ機会の確保や緊急利用における最低限の機能維持、更には短期入所生活介護における指定基準まで、そのリスクマネジメントに係るエビデンスの周知に努め、更なる意識の向上に努めてきました。しかし、現状長期利用者が多いことや新任の職員も増えたことで、今後も研修等を通じた意識啓発が必要であると考えています。

#### ③緊急時における対応方法

今日まで、ショートステイにおける「緊急時における対応方法」については、施設内での緊急時に限るものしかありません。しかし近年では、自然災害による危機意識の向上から一時的な緊急避難としての短期入所利用の需要が高まっていることもあり、令和2年度においても最大で、20名程度の受入れ要請があるなど、災害需要に対する施設の対策も今後の課題になると考えています。

### 3. (予防) 認知症対応型共同生活介護【グループホーム】について

#### (1) 令和2年度の取り組みについて

グループホーム「わきたの里」では、入居者の方々の生活を基本として、入居者の個々の状態を日々把握し、職員内での情報の共有を図りながら笑顔で接することを心がけ、入居者の思いやそれぞれのペースを尊重し、各種の行事や季節の移り変わり等を体感していただきながら、安心して穏やかに過ごしていただけるよう努めてきました。

また課題として重度化と中重度者受け入れに係る、介護技術の技能不足の表面化が挙げられます。重度の認知症を抱える利用者はもちろんのこと、身体介護が必要な利用者に対する介護技術の向上を図ることで受け入れ幅の拡充を行うことも必要ではないかと考えています。

地域に信頼される居場所づくりをしていくことも地域密着型である事業所の務めであり、今後の運営におきましても以上のことを念頭に努めていきます。

#### (2) 重点目標の取り組み

##### ①運営推進会議の活用と推進

2ヶ月に1回(年6回)の定期開催をはじめ、地域・行政・福祉連携のもと様々な意見の抽出を行い、課題解決や取組についての推進に努めてきました。しかし、一昨年度末から新型コロナウイルスの流行により、令和2年度も引き続き書面決議等による開催に留めており、今後の開催方法の見直しや、開催する際の防疫等を検討していく必要があると考えています。

##### ②入居者の健康管理

嘱託医・歯科医療機関協力のもと利用者様の健康管理に努め、令和2年度におきましては、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の罹患者もゼロに抑えることができました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、令和3年2月より職員全員を対象としたPCR検査を実施しており、今日にいたるまで職員の陽性者の確認はされていません。今後も引き続き県の事業としての検査の継続を検討していく予定です。

##### ③利用者処遇の充実

利用者一人ひとりの状態をもとにプランの見直しを行い、職員間の情報共有と個別ケアにおける支援方法の統一化を図ることで、安心して気持ちの良い支援を受けていただけるよう努めてきました。

##### ④職員の資質と専門性の向上

法人全体での施設内研修をはじめ、年間の研修計画に沿った研修を実施することで、スキルの向上に努めてきました。また前年度に引き続き職員体制の充実のためユニット関係なく全利用者の状態把握が可能となるよう、月ごとに勤務を入れ替え職員一人ひとりが利用者一人ひとりに対し根拠に基づいた専門性の高い介護ができるよう努めてきました。

また、新型コロナウイルスの影響により外部研修への参加は見合わせている状況が続いていますが、ユニット型という特性上施設内研修は継続開催しスキルの向上に努めてきました。

## IV 各事業所利用実績

### 1. 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

#### 【令和元年度】

入所者の介護度状況

(令和2年3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	0	3	10	2	1	16	3.0
女性	0	2	9	10	6	27	3.7
計	1	7	18	14	9	49	3.5

月別入所実績

(延べ人数)

月	人数	1日平均人数	月	人数	1日平均人数
4月	1,343	44.3	10月	1,453	46.9
5月	1,419	45.7	11月	1,340	44.7
6月	1,350	45.0	12月	1,485	47.9
7月	1,443	46.5	1月	1,439	46.4
8月	1,441	46.5	2月	1,354	46.7
9月	1,422	47.4	3月	1,512	48.8
合計				17,001	46.4

#### 【令和2年度】

入所者の介護度状況

(令和3年3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男性	0	4	6	5	0	15	3.1
女性	2	3	13	10	5	33	3.4
計	2	7	19	15	5	48	3.3

月別入所実績

(延べ人数)

月	人数	1日平均人数	月	人数	1日平均人数
4月	1,451	48.3	10月	1,468	47.4
5月	1,532	49.4	11月	1,513	50.4
6月	1,452	48.4	12月	1,516	48.9
7月	1,493	48.2	1月	1,513	48.8
8月	1,488	48.0	2月	1,333	47.6
9月	1,423	47.4	3月	1,463	47.2
合計				17,645	48.3

## 2. (予防) 短期入所生活介護【ショートステイ】

### 月別利用実績

月	要支援		要介護					計	延利用 日数	1日平均
	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5			
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
5月	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0.06
6月	0	0	1	0	0	1	0	2	34	1.13
7月	0	0	1	0	0	1	0	2	61	1.97
8月	0	0	1	1	0	1	0	3	92	2.97
9月	0	2	2	1	1	0	0	6	57	1.90
10月	0	0	1	1	2	0	0	4	42	1.35
11月	0	0	2	0	0	0	1	3	54	1.80
12月	0	0	0	2	3	0	1	6	85	2.74
1月	0	0	0	1	3	2	1	7	137	4.42
2月	0	0	0	1	1	3	1	6	115	3.97
3月	0	0	1	1	4	3	1	10	156	5.03
年間延利用者数・年間利用者数平均									835	2.28

## 3. (予防) 認知症対応型共同生活介護【グループホーム】

### 入所者の介護度状況

(令和2年3月31日現在)

介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	要支援平均	要介護平均
男性	1	3	2	0	0	0	6	2	1.7
女性	0	6	1	1	3	1	12	0	2.3
計	1	9	3	1	3	1	18	2	2.0

### 月別利用実績

月	延利用者数	1日平均 利用者数	月	延利用者数	1日平均 利用者数
4月	510	17.0	10月	558	18.0
5月	527	17.0	11月	540	18.0
6月	510	17.0	12月	558	18.0
7月	527	17.0	1月	558	18.0
8月	503	16.2	2月	504	17.4
9月	510	17.0	3月	558	18.0
合計				6,363	17.4

# V 事業所別年間研修計画

## 令和02年度研修報告

特別養護老人ホーム わきたの里

年月	研修課題	対象職員	講師等
R02.04	新型コロナウイルス感染症の為、中止	1等級から4等級	
R02.05	5/28 新型コロナウイルス感染症について	1等級から4等級	生活相談員 清水宏次郎
R02.06	6/25 食中毒の基礎知識と予防について	1等級から4等級	管理栄養士 犬塚みずき
R02.07	新型コロナウイルス感染症の為、中止	1等級から4等級	
R02.08	新型コロナウイルス感染症の為、中止	1等級から4等級	
R02.09	新型コロナウイルス感染症の為、中止	1等級から4等級	
R02.10	10/7・14 倫理・法令遵守	1等級から4等級	介護労働安定センター 福岡支部・青見 健志
R02.11	11/12・19 リスクマネジメント研修	1等級から4等級	F h R～高原 千鶴江
R02.12	新型コロナウイルス感染症の為、中止		
R03.01	新型コロナウイルス感染症の為、中止		
R03.02	新型コロナウイルス感染症の為、中止		
R03.03	新型コロナウイルス感染症の為、中止		

※外部研修については、リモートにて参加の促進を図り、令和2年度筑豊地区事例研究発表大会をはじめ、リモート開催の研修会に参加。

# 令和2年度特別養護老人ホーム行事報告

特別養護老人ホーム わきたの里

月	行事予定	備考
4月	4/2 花見の会(桜) 4/15 母の日 4/8 誕生会	・昼食時間を利用し苑内にて花見会を実施し行事食を提供する。また桜の花と記念撮影し写真を掲示する。 ・花束を持っていただき記念撮影し写真を掲示する。
5月	5/13 父の日 5/13 園芸活動(種まき) 5/13 誕生会	・花束を持っていただき記念撮影し写真を掲示する。 ・ミニトマト・ピーマン・朝顔の種まきを行う。
6月	6/19 七夕会 6/24 ぜんざい会 6/10 誕生会	・七夕の飾り行けを行い行事食を提供する。 ・ぜんざい、桜餅、きなこ餅を準備しいつもと違ったおやつを提供する。
7月	7/7 園芸活動(野菜収穫) 7/21 アイスクリーム会 7/8 誕生会	・春に種まきをした野菜の収穫をしていただく。 ・おやつ時にアイスクリームを提供し季節感を感じていただく。
8月	8/22 かき氷パーティー 8/7 お盆供養 8/12 誕生会	・おやつ時にかき氷を準備し果物を盛り付け提供する。 冷たいおやつにて季節を感じていただく
9月	9/13 敬老会 9/18 彼岸供養 9/9 誕生会	・実行委員主導のもと敬老会を実施(新型コロナウイルス感染症流行の為、ご家族は参加されず。)
10月	10/10 芋掘り体験 10/14 誕生会	・さつま芋の芋掘り体験を行い、芋を使ったおやつを提供する。
11月	11/11 誕生会	
12月	12/23 餅つき 12/24 クリスマス会 12/9 誕生会	・餅つきの見学に合わせ体験をしていただく。 ・クリスマスケーキを準備し召し上がっていただく。またプレゼントを贈り記念撮影を行う。
1月	1/3 書初め 1/13 誕生会	・書初めをしていただき新年を感じていただく。
2月	2/3 回転寿司 2/10 誕生会	・法人全体での回転寿司の企画・開催 ※例年行っていた豆まきは風邪蔓延の為中止する。
3月	3/10 誕生会	・第一・第三土曜日にはカフェと称しコーヒー等を提供しカラオケを開催する。 ・誕生会については毎月第二水曜日に開催し誕生者の紹介、誕生日食の提供を行う。

※避難訓練、外出支援は新型コロナウイルス感染症により中止する。

※短期入所生活介護についても以上の行事に準じることとする

# 令和02年度研修報告

グループホーム わきたの里

年月	研修課題	対象職員	講師等
R02.04	個人情報保護とプライバシーについて	1 等級から 4 等級	介護職員 谷口加津代
R02.05	介護事故の予防について	1 等級から 4 等級	介護主任 林 由紀
R02.06	感染症について（面会制限の解除について）	1 等級から 4 等級	感染症委員 眞野かおる
R02.07	身体拘束廃止について（認知症の方が感染症に罹患した時の対応について）	1 等級から 4 等級	虐待・身体拘束廃止委員 林 由紀
R02.08	介護実践	1 等級から 4 等級	介護職員 舌間真智子
R02.09	緊急時の対応について	1 等級から 4 等級	介護職員 藤川 友子
R02.10	倫理・法令遵守について	1 等級から 4 等級	公益財団法人 介護労働安定センター 青見 健志氏
R02.11	リスクマネジメントについて	1 等級から 4 等級	FhR 高原千鶴江氏
R02.12	認知症と認知症ケアについて	1 等級から 4 等級	管理者 眞野かおる
R03.01	高齢者と疾病について	1 等級から 4 等級	看護師 西村裕子
R03.02	高齢者への支援について	1 等級から 4 等級	介護主任 林 由紀
R03.03	成年後見制度について	1 等級から 4 等級	管理者 眞野かおる

# グループホーム行事報告

グループホーム わきたの里

月	行事予定	備考
4月	花見(桜)	昼食時間を利用し苑内にて花見会を実施
5月	母の日	母の日に合わせた記念品を職員が作成し贈呈
6月	父の日	父の日に合わせた記念品を職員が作成し贈呈
7月	夏祭り	七夕飾りを飾りスイカ割りで夏を感じて頂く
8月	お盆供養	特養でのお供養に参加
9月	花火大会 敬老会 彼岸供養	職員主催で前庭での花火を行い夏の夜を楽しむ 実行委員主導のもと施設全体の敬老会を実施。
10月	コスモス見学	西郷川公園に行きコスモスの群生を楽しまれる
11月	手作りケーキの作成	外出が出来なかった為、職員とケーキ作りを楽しむ
12月	餅つき・クリスマス会	ゲームやプレゼント交換でクリスマスを楽しむ 餅つきの見学に合わせて体験する。
1月	書初め 大門松見学	日本一の大門松にお参りをする
2月	回転寿司 節分	法人全体での回転寿司の企画・開催 職員が鬼に扮し、豆まきを楽しまれる
3月	ひなまつり 彼岸供養	お雛様を飾り愛でて雛あられを食べ写真を撮る

※新型コロナウイルスの影響により、外部との接触ができるような大きなイベントは中止しています。